

～11月30日は人生会議の日～

あんしんノート（出雲市版終活支援ノート）の配布について

1. 目的

高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも安心して自分らしく暮らしつづけるために、自身の過去を振り返り、価値観や大切にしていることなどを基に、医療や介護が必要となった際、どのような治療・介護を望むかを予め考え、家族や代理意思決定者及び医療・介護従事者と繰り返し話し合うことで、本人とその支援者が想いを共有し、可能な限り本人の望む医療・介護を実現するためのきっかけとなることを目的として作成する。

（平成24年に高齢者あんしん支援センターが作成した「あんしんノート」を今回改訂）

2. あんしんノートの特徴

一般的な終活支援ノートでは、財産や葬儀など、本人が亡くなった後、家族等に知っておいて欲しい情報を盛り込んだ内容が中心であるが、このあんしんノートは「人生の最終段階を迎えるまでの間、本人がどのように過ごしたいか」話し合うことを中心に構成している。

① **ACP※の要素を盛り込んでいる**

※Advance Care Planning__アドバンス・ケア・プランニング：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス。

H30.3「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」改訂により、ACPの重要性が強調され、国においても愛称を「人生会議」と定め普及・啓発に取り組んでいるところ。（11月30日は人生会議の日（いい看取り・看取られ））

② **市内の医療・介護専門職の意見を取り入れている**

市内の医療・介護専門職21名及び保健所・市で構成する出雲市在宅医療・介護連携推進連絡会議委員から意見をもらい、内容に反映している。

③ **地域の高齢者の意見を取り入れている**

市内3地域の高齢者サロンの協力を得て、終活に対する考えや気になっていること、あんしんノートに対する意見をもらい、内容に反映している。

3. あんしんノート概要

項目	概要
規格・ページ数	A4 カラー・16頁 マット 76.5k
印刷部数	1,500部（希望者に無料配布）
発行者	出雲市・高齢者あんしん支援センター
内容	表紙（1P） 医療の章（2P） はじめに（1P） 介護の章（1P） わたしのこと（1P） 財産の章（1P） 私のプロフィール（2P） 葬送の章（1P） 繋がりの章（2P） これからの章（1P） 家系の章（2P） 裏表紙（1P）

※配布先等は別添チラシ参照（市ホームページからダウンロード可）

4. 問い合わせ先：健康福祉部医療介護連携課 担当：神田 TEL：(0853)21-6121（直通）